

地球温暖化防止実行計画による 温室効果ガス排出削減状況報告

平成22年度までの温室効果ガス排出削減の削減状況

和寒町地球温暖化対策実行計画は、行政としての先導的、模範的な役割を果たすため、一事業所（役場）として地球温暖化防止に向け、温室効果ガスの削減目標や取り組みを具体的にまとめたもので、平成20年10月に策定しました。

計画では、平成19年度（基準年）の温室効果ガスの排出量を基準として、平成24年度までに基準年比で3.5%の排出削減を目標としており、その実効性を高めるため取り組みの状況を定期的に調査することになっています。

今回、平成20年度から平成22年度までの3年間の取り組み状況を年度別に報告いたします。平成19年度（基準年）と比較して平成22年度は6%の温室効果ガスが削減されています。

温室効果ガス（二酸化炭素CO₂）排出量比較

(表1)

(kg-CO₂) (※1)

温室効果ガス	H19年度 CO ₂ 排出量	CO ₂ 排出量	削減量			
			CO ₂ 排出量	削減率	自然条件 (※2) による減	取り組み (※3) による減
H20年度	3,485,547	3,100,888	384,659	11.04%	8.36%	2.68%
H21年度		3,177,648	307,898	8.83%	5.05%	3.79%
H22年度		3,276,306	209,241	6.00%	3.76%	2.24%



- ※1 kg-CO₂の記号とは → 温室効果ガスの二酸化炭素の排出量に使われる単位で、ガソリン等の燃料に係数を掛けて算定しています。
- ※2 自然条件等とは → 暖冬による影響の他、施設や設備の廃止などにより削減したと考えられるものを算定しています。
- ※3 取り組みとは → 「施設の暖房を下げる」「電気節電」など、日頃の取り組みにより削減したと考えられるものを算定しています。

平成22年度燃料別温室効果ガス排出量

(表2)

(kg-CO₂) (※1)

	H22年度 CO ₂ 排出量	削減量		H24年度 CO ₂ 排出量	主な削減理由
		CO ₂ 排出量	削減率		
ガソリン	47,332	4,925	9.43%	1.66%	ガソリンは主に公用車や各施設の作業車の燃料として消費されています。公用車をエコカーへ(軽自動車など)入替、エコドライブの実施により削減されています。
灯油	586,066	22,955	3.77%	7.93%	主に施設の暖房として消費されています。暖房温度管理により更なる削減が必要です。
軽油	121,287	14,201	10.48%	5.80%	主に大型公用車(バス)や各施設の作業車です。
A重油	882,314	81,948	8.50%	3.49%	灯油と同じように主に施設の暖房用として消費されます。暖房温度管理とウォームビズへの取組により削減されています。
LPG	19,941	798	3.85%	0.14%	主に調理・給湯での使用です。各施設での削減となります。
電気	1,619,365	84,414	4.95%	1.92%	主に施設の動力や暖房用として消費されます。各施設において、節電への取組により削減されています。
合計	3,276,305	209,241	6.00%	3.54%	